

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

正しく（知）、明るく（徳）、たくましい（体）児童の育成

- ア 正しく（知）目標を持って、進んで学習する子
- イ 明るく（徳）ルール・マナーを守り、思いやりのある子
- ウ たくましく（体）体を鍛え、命を大切にする子

(2) 経営方針

未来を拓く子どもの育成をめざす

- ア 確かな学力の向上のために、児童一人一人に、学ぶことの楽しさや成就感を味わわせ、基礎的・基本的な知識及び技能の定着に努める。
- イ 体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、主体的・対話的で深い学びを実現することにより、思考力・判断力・表現力等をさらに向上させる。
- ウ 読み聞かせや読書指導などの読書活動、たてわり活動やなかよしグループ活動を充実させる中で豊かな感性や思いやりの心を育てる。
- エ 基礎的な学習規律や校内生活習慣を高める指導を充実させ、ルールを守る心を培う。
- オ 児童一人一人の良さを生かした、調和のとれた豊かな人間性や社会性を培う。

信頼される学校づくりをめざす

《信頼される教師》

- ア 教職員の十分な共通認識とあふれる協働意欲によって、創意工夫をこらした教育活動を展開し、特色ある学校づくりの推進に努める。
- イ 意欲的に研修を深める教職員集団を形成し、授業や学級経営等の質の向上を常にめざす。

《開かれた学校》

- ア 家庭や地域社会に積極的に学校教育について発信し、学校に関わる全ての人の理解と協力を得る学校づくりをめざす。
- イ 学校の教育活動の公開、地域の教育力を活用した講座の実践等、家庭・地域社会の提言や意見を教育活動に生かし、開かれた学校づくりをめざす。

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 「聞くこと、聞かせること」から、学習規律の徹底とマナーの向上を図る
- イ 「わかる・できる・身につく授業」の実践に努め、学習内容の基礎・基本の定着を図る。
- ウ 7つの魔法の言葉（おはようございます・こんにちは・さようなら・お願いします・ありがとう・ごめんなさい・いいよ）や、3つの大切（物・周りの人・自分自身）を実践することで心豊かで、健やかな心身を育てる。特にあいさつの励行、「ありがとう」があふれる教室づくりのさらなる推進を図る。
- エ 「たてわり活動」「なかよしグループ活動」を通して、人を思いやる心、感謝する心を育てることで、地域社会での将来の人間関係の構築に役立てる。
- オ 教育相談の充実を図るとともに、いじめ・不登校・虐待などについては、家庭や地域及び関係機関との連携を深め、早期発見・早期対応ができるようにする。
- カ 「早寝・早起き・朝ごはん」など健康と安全に関心をもち、命を大切にする心を育てる。
- キ 多忙化解消に向けて、教職員の業務の効率化を図るために、行事の精選化や校務分掌の役割分担及び各自の意識改革を図り、さらなる改善に向けて推進する。
- ク 新しい学びの実現に向けたChromebook活用の推進を図る。